

現象

処置

1. 連結が出来ない

キングピンサイズが違う	正規の組み合わせにする
ジョー内径にバリがある	バリをヤスリ等で取り除く
ジョーピンの給脂不足により ジョーが固着している	分解し、錆取り後給脂する
斜め連結・凸凹路・坂道である	平坦路で直線にバックして連結する
連結直前に開放レバーが戻る	連結時の衝撃で連結前にレバーが戻る 場合があるので、連結スピードを落とす
ジョーが閉じている	レバーを引いてロックを解除する
ヨークが完全に入らない	<ul style="list-style-type: none">連結スピードを落としてみるジョー内径にバリがないかジョー内径調整時に、内径が小さく なりすぎていないかヨーク交換時にヨーク外側を削りながら 調整したか操作レバー関係をワイヤーケーブルに 改造していないかヨークシャフトが変形していないかレバーが変形していないかスプリング類のヘタリ、破損がないか

2. 連結が外せない

ジョーピンの給脂不足により ジョーが固着している	ジョー後側の合わせ目にボール等を こじ入れてジョーを開き、切り離した後、 分解し給脂をする
斜め連結・凸凹路・坂道である	平坦路で切り離し作業を行う
レバーが重くて引けない	キングピンがジョーを後に引っ張っている為 ハットをゆっくりバックさせ、引っ張り合いを 解消する
操作レバー関係をワイヤーケーブルに してあり、ワイヤーケーブルの動きが渋い	オリジナルのレバーに戻す
部品の変形、脱落	確認し、修理する

現象

処置

3. 走行時にトレーラが外れた

不完全連結のまま走行
(平坦路では8~10^{km}は摺動面の
面圧だけで走行可能)

- ・ 破損、変形部品を修理後
再度完全に連結する
- ・ 連結時、ランプの点灯確認と目視確認を
必ず行う

ドライバーが車両を離れた後
再走行して外れた

- ・ いたづらをされた可能性があるので
乗車前に必ず確認する
- ・ レバー部に鍵を付ける等の防止策を講じる

各部の磨耗が著しく、部品が破損、脱落した

定期点検、調整を履行する

4. 走行時に異音がする

トレーラからの突上げによる異音

ジョー関連、軸受部の磨耗が考えられます
点検修理を実施

カプラ摺動面のカジリ音

カプラ、トレーラ両面を滑らかに修正し
グリースを充分塗布

段差乗り越え時の叩かれ音

軸受部のラバーの磨耗が考えられます
ラバー等の部品交換

各作動部品からの音

点検して給脂をする